

213) あの日のころ

3年ぶりで出逢ったあなた	昔と少しも変わっていない
笑ったときのまっ白い歯が	学生のころ思い出させる
テンポの遅い喋りかたまで	3年前のあなたそのまま
あなたと二人こうしていると	あの日の頃に戻ったみたい
わたしあの頃あなたのことを	何故か素直に好きと言えずに
いつもあなたに逆らっていた	でも本当は他の誰より
わたしのことをかまってくれて	意地悪ばかり言っていただけ
あなたと二人こうしていると	あの日の頃に戻ったみたい
あの日は寒い雪の日だった	あなたにクルマで送らせといて
途中まで来て喧嘩になって	わたしひとりで歩いて帰った
それきり逢わず今日まで過ぎて	わたしは悪い女だったね
あなたと二人こうしていると	あの日の頃に戻ったみたい
あれからわたし少し変わった	あの頃よりも素直になった
他人 <sup>ひと</sup> の気持ちや心の痛み	少しはわかる女になった
できるものならやり直したい	3年前の夢を追いたい
あなたと二人こうしていると	あの日の頃に戻ったみたい
あなたの胸でわがまま言って	あなたの胸で眠りたいけど
今わたしには彼氏がいるの	約束をした人がいるのよ
3年間の空白の日は	そんなにすぐに埋められないの
若かった日の夢の続きは	素敵 <sup>ひと</sup> な女と叶えてほしい